

日本共産党 市議会報告

明るい米子

2012年7月
日本共産党米子市議会議員団／発行
米子市加茂町1-1 電話23-5517(直通)

放射能にどう向き合うか

震災がれきの問題を考える

6月議会に市民から出されていた5本の「震災がれきの受け入れに反対する」陳情は継続審議となりました。

共産党市議団は、がれきの広域処理には放射性物質への政府の真剣な対応が必要であり、受け入れには市民合意が大前提と

考えます。現在の国のやり方では安全の保障がないこと、そして米子の焼却施設クリーンセンター周辺の自治会が開いた説明会で反対の声が圧倒的に多かったことなどから、陳情を採択することを求めました。

心配なのは放射能の影響

国が震災がれきの広域処理で示している放射線量の基準値は240または480ベクレル（焼却炉の型、処理能力での違いによる）、焼却後の値が8000ベクレル以下とされています。基準以下であれば一般廃棄物として焼却し、一般廃棄物の処分場に埋めるといいます。しかし福島原発事故以前は、原発の稼働によって出る廃棄物のうち100ベクレルを超えるものは再利用せ

ず、放射性廃棄物として厳重に外界から遮蔽し管理されてきました。

福島原発の事故処理の中で、暫定的につくられた一般処分場に埋めていい基準を国は焼却後8000ベクレルとしたものです。それをがれきの広域処理にそのまま当てはめ、全国各地に運び込み拡散し、焼却していいものでしょうか。どうしても安全だとは考えられません。

被災地支援のためにも放射能に真摯に向き合うべき

また国が定めた基準ではなく、独自に30ベクレル、50ベクレル以下という基準を決めて受け入れをする自治体もあります。米子市は「受け入れが具体化してから

考える」と、この放射線量について検討をしていません。国と米子市が放射能に対して真剣な対応をしているとは考えられません。

30 26 議員定数4名削減強行

いっきよに4名もの議員定数削減が強行されました。これまで議員定数は30でしたが、再来年（二〇一四年）六月におこなわれる市議会議員選挙から26に減らされます。

行財政改革の一環として、議会も自ら身を削るべきということが主な削減理由でした。共産党市議団は議員が減れば▽市政へ市民の声が届きにくくなる▽市民目線で行政をチェックする機能が弱まる▽「市民参加の市政」に逆行する―として、削減に一貫して反対を主張してきました。

また、米子市と同じような人口・産業構造の類似の自治体が全国に42ありますが、そのうち議員数が30以上の自治体は25と、過半数となっています。

本会議の採決で14対13という“僅差”で削減が可決されましたが、そもそも議会の根幹にかかわる問題を議会内で議論が二分される状況で強行することは妥当性を著しく欠くものです。

暴力団排除条例が 市民の活動を規制？ 「役員名簿の提出」撤回を

米子市文化ホールや公会堂などの市の施設を使用する文化団体などに、市が役員名簿を提出させ、警察に照会しようとしていたことがわかりました。暴力団排除条例の運用で、暴力団の活動に利用されないためという理由です。

石橋よしえ議員はこれを一般質問で取り上げ、市民の活動を規制し、憲法に保障された個人のプライバシーや思想・信条、結社の自由などを侵すものであると、撤回をもとめました。角副市長は「市民の立場に立つて、見直しをする」と答えました。

議長・副議長選に どう臨んだか

議会最終日に、2年交代という慣例による議長・副議長選挙がおこなわれ、新しく議長に松井義夫氏（よなご会議）、副議長に藤尾信之氏（信）が選ばれました。

このほか議長選には渡辺穰爾（蒼生会）、副議長選には遠藤通（一院クラブ）、山川智帆（虹）の各氏が立候補。共産党市議団は独自候補を擁立せず、▽選出された議長・副議長は会派を離脱する▽議員定数4名削減に反対する―ことなど、4項目のアンケートを立候補者におこない、その回答をもとに検討し松井氏、藤尾氏を支持しました。



日本共産党の6月議会での一般質問は次のとおりです



岡村えいじ 議員

消費税大増税反対

十三・五兆円もの負担を国民にかぶせる消費税増税。暮らしも経済も財政も壊すばかりか、地域の文化活動にも影響を及ぼします。岡村議員は市内の演劇鑑賞団体の例をあげて、消費税が10%になれば「例会の運営が続けられる心配」との声を紹介。増税に反対するよう市長の見解を求めましたが、野坂市長は「国の動向を注視したい」と述べるにとどまりました。

生活保護切り下げ許すな

最近お笑いタレントの母親が受給していたというところを取り上げて、生活保護バッシングがテレビなどを通じて繰り返されました。民主党政権や自民党などはここぞとばかりに保護水準の切り下げを狙っています。いま問題なのは保

議案・陳情に対する議員の態度

- ①米子市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- ②米子市議会議員の定数を削減しないよう求める陳情
- ③年金の2.5%削減法案撤回の意見書を求める陳情
- ④最低賃金の引き上げと安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充を求める意見書採択の陳情
- ⑤消費税増税に反対する意見書の提出を求める陳情書

○賛成 ×反対		①	②	③	④	⑤
共産党	石橋 佳枝	×	○	○	○	○
	岡村 英治	×	○	○	○	○
	松本 松子	×	○	○	○	○
蒼生会	岩崎 康朗	○	×	×	×	×
	尾沢 三夫	○	×	×	×	×
	野坂 道明	○	×	×	×	×
	松田 正	○	×	×	×	×
	湯浅 敏雄	○	×	×	×	×
	渡辺 穰爾	○	×	×	×	×
	渡辺 照夫	議長				
よなご会議	伊藤ひろえ	×	○	×	○	×
	稲田 清	×	○	×	×	×
	国頭 靖	×	○	○	×	×
	小林 重喜	×	○	×	×	×
	西川 章三	×	○	×	×	×
	松井 義夫	×	×	×	×	×
	矢倉 強	×	○	×	×	×
公明党	笠谷 悦子	○	×	×	×	×
	原 紀子	○	×	×	×	×
	安木 達哉	○	×	×	×	×
	安田 篤	○	×	×	×	×
一院ク	遠藤 通	○	×	×	×	×
市民派	中川 健作	×	○	○	○	○
仁	中田 利幸	○	×	×	×	×
ムスカリ	門脇 邦子	×	○	×	○	○
コモンズ	杉谷第士郎	○	×	×	○	×
虹	山川 智帆	○	×	×	×	○
信	藤尾 信之	×	○	×	×	×



石橋よしえ 議員

負担増とサービス削減の介護保険

今年度からの介護保険制度の改定で市民の負担がより増え、サービスはさらに削減されました。特に、訪問介護の単位時間と報酬の切り下げについて利用者やヘルパーから、「単位時間60分でも走り回って仕事をし、利用者の話



松本松子 議員

淀江駅をまちづくりを活かす

列車から降りて駅舎を出ると大通りもなく、駅の周辺がひっそりとしている。松本議員は、昨年、開館した「上淀白鳳の丘展示館」や、ゆめ

をゆっくり聞いてあげること出来なかった。45分になるなんてとんでもない」「同じサービスなのに単位数が増え利用料が増えた」「利用料を増やせずサービスが削られた」「報酬切り下げはヘルパーの少ない収入がさらに減る」などの実態があります。石橋議員の「国に見直し求めるべき」という質問に、福祉保健部長は「この改定は実態を踏まえたもので、ヘルパーの効果的な活用を図るものである」と国いいなりの答弁に終始しました。

温泉、上淀廃寺、妻木晩田遺跡などの観光地だけでなく、公共交通機関の玄関となるJR淀江駅を市民の集える場所として解放する考えはないのか、と尋ねました。米子市役所淀江支所長は「今のところ駅舎を活用する計画はないが、駅舎周辺の清掃等環境整備は、地域で支えられていると承知。今後、地域の活性化につながる利用について、地域のみなさんと共に考えたい」と善処を約束しました。

市民の願いにこたえ 脳ドック検討はじまる

脳卒中を防ぎ、寝たきりを出来るだけ減らし、市民の健康を守りながら医療費削減も進める脳ドックの早期実施を求めて再度、質問しました。市長は、脳ドックには3万円程度の委託料が必要なので、ドックの実施医療機関や国保財政など総合的に検討する、と初めて前向きな答弁をしました。

松本議員はこのほか「産廃最終処分場問題について」「地下水保全条例を制定し、いのちの水を守る問題について」「保育新システムに反対し、安心して育てられる施策を求めて」質問しました。



お気軽に相談を

仕事・くらしの悩み

日本共産党生活相談所

電話・Fax 32-5590

米子市富士見町136

岡村えいじ TEL 29-3475
 ブログ http://jcpy.sakura.ne.jp/o/
 松本 松子 TEL 56-2504
 ブログ http://jcpy.sakura.ne.jp/m/
 石橋よしえ TEL 28-7598
 ブログ http://jcpy.sakura.ne.jp/i/